

# 4地域でスポーツフェスタが開催されました！

## 総合型スポーツフェスタ 2021 in 山陽小野田 翔～はだたく～

10月30日（土）、10時から15時、不二輸送機ホールと山陽小野田市民体育館において、三輪龍氣生氏と岸田茂氏、司会に松原淳子氏を迎え、芸術作品約70を紹介しながら、その折折にどんなテーマや心情だったのかなどのお話がありました。三輪龍氣生氏の青春時代の作品からは、内面から出てくるエネルギーを表現している陶芸作品が多くあり、改めてテーマである「はばたく、揺るがない信念」の意味を考える時間となりました。



トークショーの後は、ichiro(イチロー)氏と3人の仲間によるロックコンサートでした。ギターとドラムの音が会場に響き渡り、ichiroさんの歌声に魅了された人が多く見られました。何度も山陽小野田市に来られていることから、ファンの方がたくさん来られ、曲に合わせて体を動かしておられたのが印象的でした。



午後からは、ニュースポーツ教室「パドルテニス教室」が開かれました。パドルテニスは、会場を移して、市民体育館で約40人の参加で行われました。講師は、日ごろからパドルテニスをしているすげえちゃ・高泊の会員の皆さん。ほとんどの参加者は初めてということもありましたが、段取りよく進められていま

した。

コロナ禍の中、感染予防対策を立てながら、第4回スポーツフェスタを行うことができました。参加者の70%に当たる187人が一般参加者であり、総合型地域スポーツクラブのPRにもつながったように思われます。総合型クラブへの理解や興味についての数値はまだまだ少ないですが、魅力あるイベントを行うことで、一般の参加者が増えていくのではないかと思います。

## 総合型スポーツフェスタ 2021 萩・長門・阿武

10月30日・11月28日（日）に、萩・長門・阿武総合型地域連絡協議会主催の『総合型スポーツフェスタ 2021 萩・長門・阿武』が開催されました。まず、10月30日に、萩市で活動している至誠館クラブが主管となり、萩市陶芸の村公園で、グラウンド・ゴルフ大会が行われました。このコースは、(公財)日本グラウンド・ゴルフ協会の認定コースになっています。大会には、11歳から86歳の54名が参加されていました。この大会は交流を目的としていますので、チームは年齢・性別・地域関係なくバラバラに組み、3世代交流を実現することができました。

日頃から練習されているベテランの方が、初めて体験する子どもたちに教えていたり、ホールインワンやナイスショットが出た際には歓声が起こったりと、楽しくプレーする姿を見ることができました。



わくわく(輪く和く)通信

山口県生涯スポーツ推進センターだより

Vol.43

2021年

12月

スポーツクリ

0000

BIG

初めての大会運営となり、開会式の整列や集計に少し時間を要したことなどの反省点はありましたが、全体を通して大きな問題もなく無事に終わることができました。大会後には早速、次年度以降も継続して実施していこうとの前向きな声がスタッフから出ていました。

11月28日（日）には、長門市総合型スポーツクラブ連絡協議会が主管となり、ルネッサながとを会場に、トップアスリートによるバレーボール教室と卓球が行われました。元全日本バレーボール選手の宝来麻紀子氏と前田悟氏を講師に迎えたバレーボール教室には、長門市、萩市の小・中・高生が参加していました。脳を使った準備運動やプレーの基本・応用などを学びました。講師のお二人は丁寧に指導され、参加者や指導者、保護者は真剣



な表情で耳を傾けていました。教室後には、記念撮影やサインにも応じていただき、参加者にとってよい思い出となったことでしょう。

卓球には、50代以上の参加が多く見られました。試合形式で、年齢を感じさせないダイナミックな打ち合いも見られ、真剣かつ楽しくプレーされていました。卓球は、生涯スポーツとして楽しむことができるスポーツだと改めて感じました。



## 岩国地域総合型スポーツフェスタ「ミニテニス講習会」



11月14日（月）岩国市美川町にある美川体育館にて、岩国地域スポーツフェスタが開催されました。今回は、美川スポーツクラブまめな会が主管となり、岩国市と和木町で活動している総合型クラブが共同で行いました。クラブ関係者を中心に参加者は50名で、体育館の広さとしてはちょうどいい人数だったように思いました。

開会式ではゲストとして、岩国市観光大使である柴犬の“ジェームス Jr. くん”が登場し、くす玉割りの演出がありました。お利口で可愛い観光大使にとってもほっこりしながらの開会となりました。

講習会には、岩国と広島のミニテニス協会から講師に来ていただき、約2時間技術を学びました。ミニテニスは、テニスラケットを小さくしたものと、ビニール製のボールを使い、バドミントンのダブルスコートでプレーします。ボールは、やわらかくてカラフルなので、見やすく、当たっても痛くはありません。テニスのようなボレーはなく、どんな打球でもワンバウンドしたボールを打ち合わなくてはなりません。



初めは、バウンドの変化に対応できず、空振りする場面も見られましたが、少し練習をすると、皆さんすぐに上達していました。最後は対戦を行い、好プレーに喜び、打ち損じては笑い、とても盛り上がっている様子が見られました。

ミニテニスは、誰でも気軽に楽しく始められ、クラブ活動にも取り入れやすいスポーツだと感じました。

## 柳井地域総合型スポーツフェスタ「リズムジャンプ研修会」

11月21日（日）に、田布施スポーツクラブが主管となり、TAIKO スポーツセンター田布施を会場に、柳井地域スポーツフェスタが実施されました。一般社団法人スポーツリズムトレーニング協会 STAR 認定インストラクターの串田和花氏（くしだのどか）を講師に迎え、約2時間しっかり体と脳を動かしました。

リズムジャンプは、リズム感を高めることで運動能力を向上させる新感覚のトレーニングです。ラインと呼ばれる障害物（幅5cm×厚さ5mm×長さ8m程度）を使用し、音楽のリズムに合わせてながら、ラインを踏まないように、前後左右方向のジャンプ、回転やステップをしたり、さらに手の動きを加えたりしながら運動します。リズムを変えたり、動作を加えたりすることで対象者に合った運動を行うことができます。運動能力、競技力の向上や怪我の予防、脳トレなどの効果があるとされており、教育現場やプロスポーツチーム、福祉や医療現場など多くの分野で取り入れられているようです。



今回参加された方のほとんどは初体験で、初めにリズムジャンプについてスライドで説明を受け、その後実践しました。最初はジャンプに拍手を加える簡単な動きから、徐々に難易度が上がり、最後はジャンプしながら回転し、手で頭肩を順番に触って拍手をするといった動きをしました。膝が悪い方やシニア向けにはジャンプではなく、リズムステップという方法を教えていただき、子どもからシニアまでの幅広い年齢層でも実践することができました。



手と足の動きが合わなかったり、ラインを踏んでしまったりも見られましたが、難しい動きに苦戦しながらも挑戦している姿がとても印象的でした。

## 中国ブロッククラブネットワークアクション2021の報告

標記研修会が、広島県が主管となって、10月24日（日）にオンラインで実施されました。都道府県総合型クラブ連絡協議会加入クラブ、都道府県体育・スポーツ協会等担当者、行政担当者など、64名が参加しました。この研修会は、共通プログラムとブロックごとの独自プログラムという構成で展開され、山口県からは、菊川スポーツクラブの井上さんが事例を発表されました。

テーマ：今後の地域スポーツを考える	
共通プログラムⅠ 「運動部活動改革についての情報共有」 スポーツ庁健康スポーツ課 久田 晴生 氏	部活動の意義・現状・課題、地域スポーツ体制の現状、学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について説明され。少子化の影響、勝利至上主義による過度な指導、教師の負担増加などの課題が挙げられ、生徒にとって望ましい活動環境や教師の負担軽減を一体的に図る部活動改革が必要であると示された。
独自プログラムⅠ 「行政としてのこれからの運動部活動について」 発表① 広島県教育委員会事務局学びの変革推進部 豊かな心と身体育成課 学校体育係長 光橋 健 氏	部活動の実態、行政として今後の部活動改革の方向性について発表があり、新たなジュニア世代のスポーツ環境の創造は、これまでの部活動の破壊ではなく、地域との連携が重要な鍵と考えていると述べられた。
発表② 広島県スポーツ振興課 課長 杉山 浩紀 氏	「サービス業」としての総合型クラブの可能性をテーマに、総合型スポーツクラブ、スポーツ推進委員、競技団体、プロチーム、トップチーム、教育委員会、市町とも連携して従来の形に囚われることなく、今後の変化に対応していきたいと考えている。
発表③ 北広島町教育委員会 教育長 池田 庄策 氏	町内中学校の運動部活動の現状や運動部活動の地域移行について、中学校長の意見が紹介された。その他、豊平中学校ソフトテニスクラブの事例では、勝利主義でなく学校教育で必要な礼儀や挨拶、人間関係や協調性を大切にし、障害のある子どもたちも含め、生徒がやりがいや目標を持ち取り組んでいることを説明された。

<p>独自プログラムⅡ</p> <p>「自治体と総合型地域スポーツクラブの連携」</p> <p>北広島町役場まちづくり推進課</p> <p>沖中 満春 氏</p>	<p>北広島町で活動している総合型クラブと町との連携内容や町として支援している内容等についての発表がされた。</p> <p>町としては、スポーツだけでなく、町の活性化をするためには総合型クラブとの連携は欠かせないと考えていることを強調された。</p>
<p>独自プログラムⅢ 事例発表</p> <p>「総合型地域スポーツクラブと学校連携」</p> <p>事例①</p> <p>鳥取県 NPO 法人鹿の助スポーツクラブ</p> <p>谷口 一真 氏</p>	<p>鳥取市から受託している地域運営型活動推進モデル事業の進捗状況について発表された。これは、文科省が令和5年度から目指している休日等の部活動を地域に移行する「地域部活動」を推進するにあたり、受け皿となる総合型クラブとしての業務や運営方法について検証するための事業として行われている。</p> <p>モデル地域として鹿野町が指定され、鹿の助スポーツクラブが、地域部活動の実現に向けた土台作りとして、先進地視察や人材の発掘などを行う。</p>
<p>事例②</p> <p>山口県 一般社団法人菊川スポーツクラブ</p> <p>井上 登代子 氏</p>	<p>クラブとして、中学校と連携して実施してきたこと、していることについての発表がされた。菊川中学校の芝生化や職場体験の受け入れ、サッカー部員が当番制でクラブのサッカー教室の補助を行うこと、「菊川で学び、活躍する日」を設けていることが紹介された。</p> <p>「菊川で学び、活躍する日」は、菊川スポーツクラブをはじめ、教育支所や町づくり協議会などの地域団体と連携して行っている。各団体がいろいろな講座を開き、そこへ生徒が参加するという形で、昨年度から実施している。</p>
<p>日本スポーツ協会からの情報提供</p> <p>公益財団法人日本スポーツ協会 クラブ育成課</p>	<p>今後の地域スポーツ体制の在り方、「学校運動部活動指導者の実態に関する調査」、総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度の概要等についての情報提供。</p>

地域部活動・・・学校と地域が協働・融合して部活動を行うことを指しています。  
休日に、地域の団体が運営主体となって、部活動の指導を行う取組のことで。

- ①部活動は、生徒にとって学校教育の一環として位置づけられた活動です。
- ②公立学校（中学校を中心に）における教師の働き方改革の視点も踏まえ、休日に教科指導を行わないことと同様に、休日に教師が部活動の指導に携わる必要がない環境を構築することとしています。
- ③令和5年度以降、休日の部活動の段階に順次移行していく予定です。  
(休日の指導を望まない教師が従事しないような仕組み)
- ④休日の指導を希望する教師は、運営主体となる地域部活動の下で、指導することができます。
- ⑤総合型地域スポーツクラブも運営主体（安全・会計・計画の管理など）として、地域部活動を担う地域団体の一つにあげられています。

\*中国ブロックネットワークアクション2022は、山口県が幹事県となりますので、ご協力よろしくお願いたします。

### スポーツフェスタのご案内

#### 県央地域スポーツフェスタ

(サッカー教室・アーチェリー モルック ニュースポーツ体験)

○2/20(日) 山南総合センター(山口市)

#### 周南地域スポーツフェスタ

(コンディショニング講習会・トップアスリートによる卓球教室)

○2/26(土) 下松スポーツ公園(下松市)

### 主な研修会などのご案内

#### 第2回創設・育成研修会

○2/4(金) ほしらんどぐだまつ(下松市)

5(土) 山口東京理科大学(山陽小野田市)

日程 13:30~16:00

内容 (両日ともに同じ内容です)

講演 生涯学習社会における大学の役割

～地域における健康意識の高まりについての一考察～

講師：山口東京理科大学 嶋本 顕 教授

情報提供 登録・認証制度等

【生涯スポーツ推進センター問い合わせ先】

中央生涯スポーツ推進センター(山口県体育協会)

TEL 083-933-4697 FAX 083-933-4699



クラブアドバイザーは、スポーツ振興くじ(toto)助成を受けて活動しています。